

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和3年度事業点検・評価調書

3-7

3-7

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	景観に配慮したデザインの検討、新設及び既存建物の景観への配慮
節			事業主体	佐渡市建設課
事業(施策)名	7 良好な景観形成のための規制誘導		関連団体	県都市政策課、佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共事業や民間等による現状変更行為への景観誘導の推進により、良好な景観形成を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共事業や民間等による現状変更行為に対し、景観に配慮した外観への誘導に向けて、事業者等の事前相談・協議の徹底を図るとともに、公共事業及び大規模な民間等による設計・施工内容については、景観アドバイザーによる助言等をもとに景観配慮を徹底する。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共施設、大規模建築、携帯電話の鉄塔について、指導を徹底し規制誘導することで、模範となる建築物、工作物を増やす。</li> </ul>			
これまでの取組実績	<p>公共施設の整備及び大規模な建築物建築に際して、景観アドバイザー協議を行い、景観誘導を図った。 携帯電話の鉄塔に関して、事前協議を実施し、指導を行った。</p>			
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共施設や延べ面積300㎡を超える大規模な建築物について、景観への十分な配慮が必要なため、景観計画に基づき色彩等の基準を超えないよう指導するとともに、景観アドバイザーの助言等をもとに、模範となるよう誘導を図っていく。</li> <li>● 携帯電話の鉄塔については、色彩を提案し景観に配慮した外観となるよう指導する。</li> </ul> <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画のとおり公共施設について3件、大規模な建築物について6件の景観アドバイザー協議を実施し、助言をもとに指導を行った。</li> <li>● 携帯電話の鉄塔に関して事前協議を1件実施した。</li> </ul>			
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公共施設の整備及び大規模な建築物建築に際しては、景観への十分な配慮が必要なため、景観アドバイザーの助言等をもとに、模範となるよう誘導を図る。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景観アドバイザーの助言等をもとに、引続き模範となるよう誘導を図っていく。</li> <li>■ 景観計画に基づき、届出者や代理人との協議・調整を行い、景観に配慮した外観への誘導を図る。</li> </ul>			
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 計画どおり協議を行い、助言による誘導を図ったことで、一定の成果が得られた。 〔 A ・ B ・ C 〕</p>			

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。